



CRC エラー カウンターの表示

- [CRC およびストップ CRC エラー カウンターの表示 \(1 ページ\)](#)
- [GUI を使用した CRC エラーの表示 \(1 ページ\)](#)
- [CLI を使用した CRC エラーの表示 \(2 ページ\)](#)

CRC およびストップ CRC エラー カウンターの表示

Cisco APIC リリース 4.2(3) 以降、CRC エラーは、CRC エラーとストップ CRC エラーの 2 つのカテゴリに分けられています。CRC エラーはローカルでドロップされた破損フレームであり、ストップ CRC エラーはカットスルースイッチによる破損フレームです。この区別により、CRC エラーの影響を受ける実際のインターフェイスを識別し、ファブリック内の物理層の問題のトラブルシューティングを行うことが容易になります。

このセクションでは、CRC およびストップ CRC エラーを表示する方法を示します。

GUI を使用した CRC エラーの表示

このセクションでは、GUI を使用して CRC エラーおよびストップ CRC エラー カウンターを表示する方法を示します。

手順の概要

1. メニューバーで [ファブリック (Fabric)] > [インベントリ (Inventory)] を選択します。
2. [ナビゲーション (Navigation)] ペインで、ポッドをクリックして展開します。
3. [インターフェイス (Interfaces)] をクリックして展開します。
4. インターフェイスをクリックして、選択します。
5. [作業 (Work)] ペインで、[エラー カウンター (Error Counters)] タブをクリックします。

手順の詳細

-
- ステップ1 メニューバーで [ファブリック (Fabric)] > [インベントリ (Inventory)] を選択します。
- ステップ2 [ナビゲーション (Navigation)] ペインで、ポッドをクリックして展開します。
- ステップ3 [インターフェイス (Interfaces)] をクリックして展開します。
[ナビゲーション (Navigation)] ペインに、インターフェイスのリストが表示されます。
- ステップ4 インターフェイスをクリックして、選択します。
[作業 (Work)] ペインに、ウィンドウの上部にタブのリストが表示されます。
- ステップ5 [作業 (Work)] ペインで、[エラー カウンター (Error Counters)] タブをクリックします。
CRC エラー (FCS エラー) およびストンプCRC エラー (パケット) を含む、エラー カテゴリのリストが表示されます。
-

CLI を使用した CRC エラーの表示

このセクションでは、CLI を使用して CRC エラーおよびストンプ CRC エラーカウンターを表示する方法を示します。

CRC エラーおよびストンプ CRC エラーを表示するには:

例:

```
Switch# show interface ethernet 1/1
Ethernet1/1 is up
admin state is up, Dedicated Interface
  Belongs to po4
  Hardware: 100/1000/10000/25000/auto Ethernet, address: 00a6.cab6.bda5 (bia 00a6.cab6.bda5)
  MTU 9000 bytes, BW 10000000 Kbit, DLY 1 usec
  reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
  Encapsulation ARPA, medium is broadcast
  Port mode is trunk
  full-duplex, 10 Gb/s, media type is 10G
  FEC (forward-error-correction) : disable-fec
^[[B Beacon is turned off
  Auto-Negotiation is turned on
  Input flow-control is off, output flow-control is off
  Auto-mdix is turned off
  Rate mode is dedicated
  Switchport monitor is off
  EtherType is 0x8100
  EEE (efficient-ethernet) : n/a
  Last link flapped 3d02h
  Last clearing of "show interface" counters never
  1 interface resets
  30 seconds input rate 0 bits/sec, 0 packets/sec
  30 seconds output rate 4992 bits/sec, 8 packets/sec
  Load-Interval #2: 5 minute (300 seconds)
    input rate 0 bps, 0 pps; output rate 4536 bps, 8 pps
  RX
    0 unicast packets 200563 multicast packets 0 broadcast packets
    200563 input packets 27949761 bytes
```

```
0 jumbo packets 0 storm suppression bytes
0 runts 0 giants 0 CRC 0 Stomped CRC 0 no buffer
0 input error 0 short frame 0 overrun 0 underrun 0 ignored
0 watchdog 0 bad etype drop 0 bad proto drop 0 if down drop
0 input with dribble 0 input discard
0 input buffer drop 0 input total drop
0 Rx pause
TX
0 unicast packets 2156812 multicast packets 0 broadcast packets
2156812 output packets 151413837 bytes
0 jumbo packets
0 output error 0 collision 0 deferred 0 late collision
0 lost carrier 0 no carrier 0 babble 0 output discard
0 output buffer drops 0 output total drops
0 Tx pause
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。